

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

重要な箇所だけ赤色でプリント、モノクロと変わらないコスト。

岐阜県立 □□□高等学校 様

岐阜県下にある生徒数約数百名の県立高等学校です。2010年1月に導入したORPHIS Xの感想を伺いました。



職員室の空いているスペースに設置



両面印刷と自動丁合は必須



広報活動の資料も内製化

実は、カラー印刷に規制をかけています。というのも、「導入費用をPTAにお願いした」事と、「岐阜県からカラープリントの使用を抑えるように指導が来た」事。この2点からなのです。

では、カラープリントをどこで使用しているか？ですが、対外的な印刷として中学校や中学生への学校案内や、学校外配布資料などに使用しています。

校内印刷需要では、カラーを控えていただくようお願いしていますが、授業の資料など文章内の重要な箇所は赤文字で印刷するなどしています。何故なら文字レベルではモノクロと比べ、単価がほぼ変わらないからです。これは重要ですよ。

その他にも、両面印刷や丁合作業・ページ振りなど印刷室で4台使っているリソグラフでは出来なかった便利な機能が、ボタン一つで出来るのは非常に便利です。PTAや職員会議の資料作成時にはフル活用しています。

職員室内のネットワークプリンターとしてもORPHIS X 7250は大活躍していますよ。1枚の印刷でもコストを意識して、レーザープリンターではなくORPHISに出力するように心掛けています。1枚あたりの単価が安いのもORPHISの魅力ですね。



新聞も精細にコピーが可能

ORPHIS X7250…スピード:毎分120枚、コスト:フルカラー 1枚 2.05円。詳しくはジムブレンまでお尋ねください。